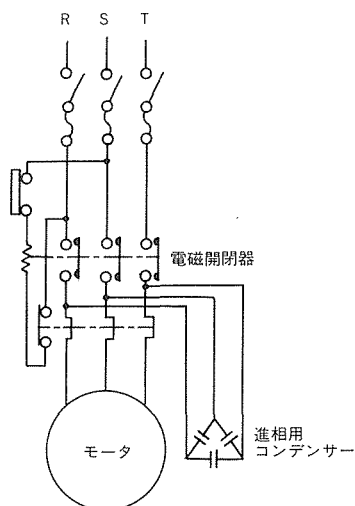
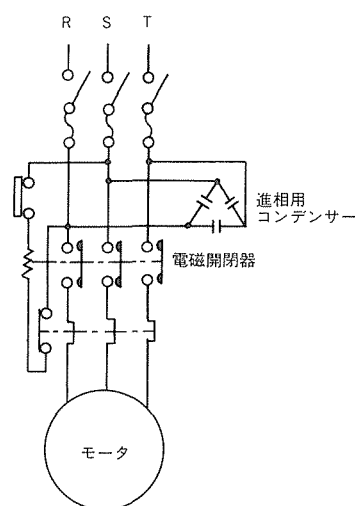


- ⑦ 進相コンデンサを接続するときは、電磁開閉器の一次側に接続しないで下さい。進相用コンデンサは電磁開閉器の二次側若しくはモータ端子側に接続して下さい。進相用コンデンサを電磁開閉器の一次側に接続した場合、一次側ヒューズの一相溶断などにより欠相した場合、進相用コンデンサを通るまわり回路ができてコイルに電源電圧のほぼ50～60%の電圧が印加し、バタツキの原因になります。



●進相コンデンサの正しい入れ方



●進相コンデンサの誤った入れ方

- ⑧ 電磁開閉器がバタツキ動作（完全に投入しないで途中ではげしく振動する状態）をするときは継続使用しないで下さい。接点溶着、釈放不良などの事故になるので、原因を調査してバタツキ動作しないようにして下さい。
- ⑨ 不要の接点を取りはずして使用しないで下さい。バランスが崩れて、接点寿命、性能に悪影響を及ぼすことがあるので、不要の接点でも取付けたまま遊ばせて使用して下さい。（このとき端子ねじも十分締付けておく事が必要です）

■ サーマルリレー

- ① サーマルリレーへの配線は適正な太さの電線を使用して下さい。電線が細いと動作時間が早くなり、太いと遅くなります。（P.291参照）
- ② サーマルリレーの整定電流目盛は、モータ全負荷電流に設定して下さい。時々動作するからといってモータ全負荷電流以上の値に設定しないで下さい。何らかの原因があって動作するのですから、原因を調べて除去しなければ大きな事故のもとになりかねません。
- ③ サーマルリレーに風をあてた状態で使用しないで下さい。サーマルリレーの動作が遅くなります。
- ④ サーマルリレーのリセットは電源の入ったままで行なわないで下さい。始動用押しボタンを押さない限りモータが始動しない回路になっている場合は問題ありませんが、サーマルリレーのリセットボタンを押すと同時にモータが始動するような自動運転回路（ポンプ、コンプレッサなど）では安全面あるいはモータ保護面で電源を切ってからリセットすることが必要です。また、リセットは動作した原因を除去してから行なわなければなりません。（自動復帰の場合はご注意下さい。）
- ⑤ 短絡事故があったときはサーマルリレーを新品と交換して下さい。ヒーターが溶断しているか、溶断しかかっている動作特性が変化している可能性がありますので交換して下さい。
- ⑥ 調整ツマミは表示範囲以外に回さないで下さい。

■ 接点の保守

- ① 接点は使用中、酸化皮膜や硫化皮膜で黒ずむ場合がありますが性能上まったく支障ありませんのでそのままご使用下さい。